



今回はベトナム研修報告その2。生徒のレポートを紹介します。①「ファンボーイチャウ高校」、②「ダナン医薬技術大学」、③「世界遺産ホイアン」の三分野から、研修を振り返ります。関高生の、来て、見て、感じたベトナムです。

◇ ファンボーイチャウ高校訪問と高校生どうしの交流

ファンボーイチャウ高校は、創立50年を迎えるベトナム屈指の進学校。校名は独立運動の英雄の名にちなみます。進学率は国内トップクラス。物理・数学オリンピックなどの国際大会では、常に上位入賞者を輩出しています。生徒のみなさんは明るく積極的、社交的。関高の訪問団をころよく迎えてくれました。

■ ファンボーイチャウの高校生がとても英語ができるということに驚き、さすがだと思いました。授業でも間違いを恐れず積極的に意見を言うところは、日本にはみられない点です。ベトナムが発展してきて活気があるということを実際に感じることができました。日本でももっと活気があればいいなと思い、それを高校でも実践していきたいと思います。(1年男子)

■ 英語が聞き取れなくてうまく話すことができませんでした。普段の英語の授業で間違いを恐れずもっと積極的に英語を話すべきだと思いました。数学などの問題の解き方や公式が日本と違って驚きました。(1年女子)

■ どの生徒もとても明るくて積極的でした。日本の生徒と違って、授業中に先生が質問すると、あっちからもこっちからも答えが飛んでくるような、間違いを恐れない姿勢・授業の雰囲気はとても良いと思いました。これは日本の授業でも取り入れていくべきだと思います。私自身は、積極的に話しかけることができ、出発前よりも伝えたいことを英語で伝えられるようになりました。また、普段の英単語小テストの大切さを知りました。もっと英会話を勉強しておくべきだったと思いました。(1年女子)



ファンボーイチャウ高校の校舎

■ ファンボーイチャウ高校を訪問して感じたことは、(自分自身の)危機感です。高校のみで感じられたことではありませんが、ベトナムの人々は、日本では感じられないような大きなエネルギーをもっているようで、町の至るところが活気であふれていました。高校も同様に、ベトナム屈指の名門校と聞いていて、堅いイメージがありましたが、とても明るく自由な校風が感じられました。

授業で数学をともに受けたとき、私は持参した日本の入試問題を一緒になって解きました。二次関数の問題であったため、万国共通であると思い、考え方も同じであろうと思っていました。しかし、解法は180度異なり、ひとつの問題に対する多様な考えかたを実感しました。また、英語の授業では、同じくらいのレベルであろうと思っていた英語力にも、私たちは彼らに比べてかなり劣っていることに気づかされました。ディベートをするときに、現地の生徒は、思いのまま話していました。

私は、訪問する前まで、発展途上国であるから、



ヒップホップで関高生を歓迎

教育水準はそこまで高くないのではないかと、固定観念を持っていました。しかし、実際はちがいで、そこに危機感を覚えました。三十年後、私たち高校生が大人になり日本を動かしていくとき、彼らもまたベトナムを動かしているのでしょう。私たちが今のままでは、やがて日本が「淘汰」されていくのではないかと思いました。この危機感を感じることができたことが、私にとって今回の研修で得ることができた最大の成果だと思います。（1年男子）

- 生徒たちの学ぶ意欲と切り替えがすごいと思いました。挙手ではなく、自らが立ち上がって意見を述べていました。私自身は、英語で自分の考えを述べるできませんでした。もっと事前に調べておけばよかったと反省しました。（1年男子）

- ファンボーイチャウの高校生は、関高生への歓迎ムードが凄くて驚きました。凄いなと思ったのはベトナムの高校生は自分から質問してみよう、自分の意見をしっかり言おうという日本人にはない積極性があるところです。自分たちに自信が満ち溢れているのが伝わってきました。また、英語が授業で聞いているような発音とは少し違ったり使う単語が違ったりして理解できない部分があったので、事前に調べておけばよかったと思いました。楽しむ時、集中する時の切り替えが凄いと思いました。（1年女子）

- ファンボーイチャウ高校の生徒との交流は、英語がちゃんと聞き取れなかったし話せなかったけど、言葉を変えたり身振り手振り話してくれたし紙に書いたりしてくれて、必死に私たちに伝えようとしてくれて、とても嬉しかったです。日本から持ってきたお菓子を美味しいって言ってたくさん食べてくれたし、私たちのプレゼンを楽しそうに聞いてくれたし、音楽流して一緒に盛り上がったのでよかったです。また生徒の皆さんに会いたいです。（1年女子）

- ファンボーイチャウ高校では日本語が通じないから、自分なりに英語でがんばれたと思いました。でもむこうの英語が早すぎてわからないところもたくさんありました。日本の高校とは全然ちがって、盛り上がりとかすごくて、びっくりしました。（1年女子）

- プレゼンで関市や学校の紹介ができたこと。また、英語を通して少しだけだけ会話できたことが良かった点です。ファンボーイチャウ高校の人たちはみんな英語がペラペラで、私たちはあまり理解できませんでした。英語のスキルアップが必要だと思いました。（2年女子）

- 代表スピーチ、そしてプレゼンが問題なくできて良かったです。しかし、覚えたことは話せても、例えば相手に話しかけられたり、雰囲気を読んだりして、機転を利かせた英語が話せなかったことから、自分の英語力の乏しさを痛感しました。それに対し、ファンボーイチャウ高校の生徒はみな、たとえ言葉が通じなかったとしても積極的に話しかけたり、交流したりする姿勢があり、驚きました。英語力がなくてもこれは自分でもできたことだと思うので、今後大切にしていきたいです。

積極的に一緒に写真を撮ろうと来てくれた人がたくさんいました。これは文化の違いによるものだと思いますが、こういうことが積極性に繋がってくると思います。学校で積極的に友達と関わったりし先生と関わろうと思いました。また実際に数学の授業を受けてみて、考え方や表記の仕方も大きく異なっていることがわかりました。（2年男子）



独立運動の英雄・ファンボーイチャウの銅像前で

ファンボーイチャウ高校の生徒のみなさんの明るさや優しさ、積極性に、関高生も大いに刺激を受けました。たとえつたない英語でも、一生懸命、話をする。グローバリズムはまずは一歩踏み出す勇気から。そんなことを実践的に学べた貴重な1日でした。次回会うときには、おたがい、日本とベトナム、世界の未来について、ぜひ語り合いたいものです。

◇ ダナン医薬技術大学訪問と大学生・先生方との交流

ダナン医薬技術大学はベトナム保健省管轄の国立大学。看護学科、リハビリ学科、医療検査技師学科、薬学科などの医療専門職養成の教育機関。卒業生はダナン市を中心に多くの病院で活躍しています。将来の高齢化に備え新たに介護学科を設置し、中部学院大学（関市）や社会福祉法人千寿会（瑞浪市）と提携し、人材育成に努めています。

- ダナン医薬技術大学では、日本人の海外での活躍を感じました。そこで働く人たちの話を聞き、日本の看護技術をベトナムへ伝えるということ、そのために日本の看護師が実際に現地に行って指導するという、そこで学んだベトナムの人たちが自分たちの病院で技術を伝えるということを知り、驚くとともに大切なことだと感じました。（1年男子）
- 暖かく出迎えてくださり嬉しかったです（エビ入りのちまきが美味しかったです）。慣れない日本語で話しかけてくださって、私も英語は苦手だけど頑張って話そうと思いました。また、現地で活動されている日本人の方の話を聞いて、将来外国で仕事をするのも夢ではないと思いました。（1年女子）



先生方、大学生のみなさんと

- ダナン医療技術大学を訪問して感じたことは、ベトナムの将来を見据えた計画が行われていることに対する意義の大きさです。ベトナムは戦後約四十年という時を迎え、今まさに発展を遂げている時期になります。日本にも戦後四十年という言葉当てはめると、ちょうど経済発展をとげていた時期と一致することから、ベトナムもまた、かつての日本のように歩んでいるといえます。今の日本が高齢社会を迎えているように、ベトナムもやがて高齢化が進行すると考えられます。私たちの国の介護サービスのようなノウハウは、ベトナムにはまだ少ないはずです。そこで、今回の草の根活動の、高齢者介護に対するプログラムは、大変意味をもち、先を見通した素晴らしく活動であると思いました。（1年男子）
- 7月に関高でお会いした学生さんたちに再会できたこと、JICA 関連の仕事に携わっている日本の先生方のお話を聞いたことが、よい経験となりました。今度機会があったら、ほかの学科の学生さんともお話できたらよいと思いました。（1年男子）
- ダナンの大学生の方と再会できて嬉しかったです。私たちのために、頑張って日本語でたくさん話していただけたので嬉しかったです。みなさんが、ベトナムの医療のために頑張っていることが分かりました。（1年女子）
- 大学生との交流で、もっと日本の文化に関わるものを持っていけばよかったなと思いました。大学でも高校でも、着物に興味をもっている人がいたので、着物の着付けをする機会があればと思いました。（1年女子）



- 7月にあったばかりで、おたがいに相手のことを覚えていて楽しく日本語で会話できました。ベトナムのお菓子やフルーツについて、たくさんお話が聞けました。実際話してみると、私たちには医療や看護、介護などの知識が乏しいことがわかりました。ベトナムで今行われている看護の仕組みなどを理解してから行くとよかったと思いました。（2年女子）
- ダナン医薬技術大学の学生さんも、私たちに積極的に関わってくださいました。日本語で挨拶してくださった姿を見て、自分がもしベトナム語をベト

ナム人に話すことを考えると、「ほんとうに伝わっているか、不安を感じながら話すだろうなあ」と考えながら聴いていました。

挨拶した方だけでなく、ほとんどの学生さんが流暢な日本語を話しており驚きでした。あちらでおもてなしを受けた時に頂いたフルーツやジュースは非常に美味でした。私たちがもっていったけん玉に夢中になっているのが意外でした。簡単そうで意外と難しく、でも割と早く上達し、アクティブなものがベトナムの人にはうけるのだとわかりました。日本でそういうものはたくさんあると思うので、次の交流の機会には、もっとアクティブなレクリエーションを用意すると思います。（2年男子）



7月にあったばかりの大学生のみなさんは、関高生の訪問に合わせて、すでに終了済みの日本語の授業を受け続けたそうです。当日は、忙しい時間を縫って看護学科の先生方も合流し、笑顔あふれる楽しい交流会となりました。

また、ジャイカの支援事業で派遣されている日本人の先生方は、誠意と熱意をこめて現地の方々に接していらっしゃいました。国際貢献の最前線で働く姿に接し、関高生一同も胸が熱くなりました。

◇ 世界遺産ホイアンとベトナムの社会・文化

ダナン郊外のホイアンには、18世紀以降の中国風木造建築の町並みが残されていて、ユネスコの世界文化遺産にも指定されています。16～17世紀には日本町もあり、町並みや伝承の中に、かつてのなごりが残されています。町並みは夜になるとランタンでライトアップされるので、世界各国から多くの観光客が集まります。ダナン郊外ではこのほかに、古くからの聖地で景勝地でもある五行山を訪れ、歴史と自然を満喫しました。

独立運動家ファン・ボイ・チャウ、ベトナム建国の父ホー・チ・ミンは、ともにゲアン省出身。偉人としてベトナム国民から尊敬を受けています。ふたりの足跡を訪ね、独立運動や革命の歴史に思いを馳せました。また、最初の訪問地ホーチミン市では、植民地統治時代を今に伝えるフランス建築（カトリック大聖堂・中央郵便局）を見学しました。

■ 日本と比べながら、ベトナムの歴史についてたくさん知ることができました。ホイアンの町並みや郊外の農村風景は、日本と似ているところが多くあって驚きました。（1年女子）

■ ホイアンの町並みは、確かに日本と似た作りではあるけれど、中国の影響が強いなと感じました。美濃市のうだつの町並みに似ていると言われると、確かにしっくりきました。夜出かけたホイアンの町は、ランタンが灯されていてとてもきれいでした。市場の様子やならんでいる商品から、ベトナムらしさを感じました。

ホイアン以外にも初日に訪れたホーチミン市のレンガ造りの教会を見て（写真左）、フランスの植民地統治の歴史を実感しました。4日目に行った五行山ではとてもきれいな景色を見ましたが、爆撃で開けられた洞窟の天井や、銃撃でこぼこになった壁を見て、ここまで被害にあっていたんだなと思い、悲しくなりました。

このベトナム研修では、いろいろなことを学び感じる事ができたので、これを今後の高校生活に活かしていきたいです。（1年男子）



- ファン・ボイ・チャウの生家跡やホー・チ・ミン廟で見た門や廟の造りには、日本建築との共通性が見られました。一方で、ヤシの葉で葺かれた外見や、主人の寝室があることなど、独自の生活スタイルがあることもよく分かりました。ホイアンの商家の構造は、美濃市のうだつの町並みと同じ「鰻の寝床」になっていたし、屋根の梁の通し方がよく似ていました。意外に多くの日本との共通点が見つかって驚きました。

夜のホイアンの町並みはとても綺麗でした。昼間はまた違った雰囲気、夜には見られなかった出店やお店の人との会話で、日本語が通じることに驚きました(日本語は通じなくても英語は通じました)。海外からの観光客も多く、活気があってとても楽しかったです。値切るという貴重な経験もできました。

異国の地で、言葉も通じない状況での買い物は少し不安でしたが、現地の方々がとても丁寧に商品の説明をしてくださったので、いつの間にかそんな不安も消えていました。一番感じたのは、テストに出る英語と実際に話す英語は全然違うということです。私もそうですが、文法がめちゃくちゃでもとりあえず単語を並べておけば意味が通じる、正しい文法よりも伝えようとする姿勢の方が大切だ、ということを感じました。普段の授業では、正しい文法を使ってあのような姿勢で授業に参加できるといいと思います。(1年女子)

ホイアンと美濃市のうだつの町並みを比較すると… 意外にも似ている！



ホイアンの古い町並みを見学



美濃市のうだつの町並み



ランタンでライトアップされたホイアン



うだつの町並みのあかりアート



ホイアンの商家内部



うだつの町並みの商家内部

ファン・ボイ・チャウ高校にて



中央郵便局に飾られたホー・チ・ミン像



■ 歴史的建造物を訪問して感じたことは、社会主義国であることを強く実感するような、国民的英雄に対する敬意の強さです。ホー・チ・ミン廟では、付近に本人の家だけでなく祖父母の家まで復元されていました。訪問先に限らず、ありとあらゆるところに肖像画が掲げられていることから、その影響力の強さがうかがえました。

ダナン郊外の五行山見学では、ベトナム戦争の爆撃のために洞窟の中のでっぺんに空いた穴を見ました。ほかにも建造物の壁に銃弾の痕跡が残るなど、戦争の激しさがうかがえる貴重なものを見ることができました。また、ホイアンの古い町並みを訪れたとき、社会の教科書でしか聞いたことのなかった朱印船貿易の世界に入ることができた喜びと、かすかに残る日本の風景が強く印象に残りました。 (1年男子)



■ ファン・ボイ・チャウの生家もホー・チ・ミン所縁の地も、こういう機会がないとなかなか行けないと思うので、行けて良かったです。五行山は景色が綺麗だったし、仏像が安置されている洞窟に驚きました。階段がきつかったけど行ってよかったです。

夜のホイアン綺麗すぎました。ランタンで町中がキラキラしていて、とても素敵でした。また行きたいと思いました。ベトナム研修はとても楽しかったです。国内便が2時間半遅れた1日目は本当に疲れましたが、2日目からは楽しくてしかなかったんです。 (1年女子)



五行山見学のようす

■ ホイアンの町並みと美濃市のうだつ町並みが似ていると言われて、確かにいろいろな点が似ているなと思いました。私は美濃市の町並みの近くに住んでいるので、ホイアンとの共通点、相違点を見つけて研究していきたいです。

ベトナムは食事がおいしかったです。地域によって麺の種類、スープが違っていろんな味を楽しめました。市場で値段交渉するのがとても怖かったし、自分の意思を変えないのも勇気がいることだったので、とても印象に残りました。違う国でこのような貴重な体験ができたのでよかったです。今回いろいろな体験を通して、日本の良さも再発見できました。 (1年女子)

■ ホイアンの町並みは全体的に中国風の印象を受けました。福建会館には、長い大きな線香がありびっくりしました。建物の色も日本と違ってカラフルで印象的でした。夜のホイアンはランタンのライトアップが綺麗で、行ってよかったと思いました。（1年女子）

■ 事前にベトナムの歴史や人物について勉強したので、史跡を見学している時も勉強したことが活かされたと思うのでわかりやすかったです。ベトナムの歴史や人物は知っていたけど、建物についてはあまり知らなかったのので、建物についても勉強すればよかったと思いました。

あちこちのいろいろな場所にホー・チ・ミンの肖像画が飾られていました。日本ではあまり見られない習慣なので驚きました。

ホイアンでとてもきれいな町並みが見られました。特に夜のランタンはカラフルですごくきれいでした。ホイアンの建物には、日本町の名残のようなものがあり驚きました。

■ ベトナムにも日本や他の国々と同じように長い歴史があります。そのなかでも世界的に重要なできごとは、独立運動やベトナム戦争前後の歴史だと思います。今回訪れたファン・ボイ・チャウの生家跡、ホー・チ・ミン廟、五行山などはどれもそれと関わっているものでした。二人はベトナム独立に尽力した人です。五行山にはアメリカ人の空爆の爪痕がくっきりと残っていました。ベトナムの歴史を目と耳と肌で感じることができ、貴重な経験となりました。またホーチミン市の郵便局や教会などの西洋建築には、フランス植民地統治時代の歴史を感じることができました。

ライトアップされた夜のホイアンを訪れました。ねぶたのようなオブジェや家々の光、それを反射する川、そして、通りに立ち並ぶランタンの数々、その街の美しさに心を奪われました。

昼間になると街はたちまち姿を変えます。そこにはベトナムの歴史を感じさせる建築群が姿を現しました。日本の影響を受けたであろう建物も見受けられました。

ダナンでは都市化したベトナムを見る事ができました。立ち並ぶ高層ビル、ドラゴン橋、観覧車、今ベトナムはどんどん成長していると聞きますが、その片鱗が見えたような気がしました。

この研修を経て自分の心の奥に染み込む体験がいっぱいありました。でもいい体験ばかりでなく後悔が残るものもあります。願わくばもう一度ベトナムに訪れたいです。しかしたとえそれが可能だとしても、自分にはまだまだ未熟な部分がたくさんあることに気がつきました。ひとつは英語力、ひとつは積極性、探せばいくらでも出て来そうなこの気持ちを大切に、今後の生活の大きな原動力にしていきたいと思っています。

ベトナムに行けて本当によかった。（2年男子）



ホイアンの町並みをじっくり観察

世界遺産ホイアンの夜景には目を奪われました。同時に、朱印船貿易の時代の日本人の活躍ぶりに思いを馳せました。ホイアン郊外には、江戸期の日本人の墓が、今も現地の人の手によって守られています（写真右）。

さらに独立や革命の歴史、ベトナム戦争、今日のめざましい経済発展についても学びました。

参加した14名は、これからベトナムフィールドワークの研究発表に向け、事後学習に入ります。

多くの方々の支援・協力で、得難い体験をすることができました。心より感謝申し上げます。

Xin cam on !!（シン カム オン、ベトナム語の感謝の言葉）

